

学校評価に係るアンケートについて（考察）

多くの方に回答していただき、感謝しています。ありがとうございました。評価の高かった項目は今までどおりの取組を続け、評価の芳しくなかった項目は取組の見直しを図り、指導をしていきたいと考えています。

今後ともご協力をよろしくお願い致します。

○児童による評価

<「できている」80%以上 7項目>

登校時、近所の人や交通指導の方へ「おはようございます」のあいさつをする。

下校時、「ただいま(帰りました)」とあいさつをする。

話し方「あ・い・う・え・お」を知っている。

友達や先生に話しかけている。

家で、決まった時間(学年×10分)学習している。

交通や学校の決まりを守っている。

不審者が出たとき、火事や地震が起こったとき、どうすればよいか知っている。

<課題>

友達や先生の話を知っている。

ノートをきれいに書いている。



・「話を聞くこと」に重点をおいて指導をします。
・「ノートをていねいに書く」ことは、わかる授業に結びつくので、ノート展なども行いつつ、意識付けを図っていきます。

○保護者による評価

<評価が高い項目>

・17項目の中で、「できている」「だいたいできている」を合わせて80%以上の項目は16項目。

・「すすんであいさつ」については、他の項目より達成率が高い。

<課題>

・「話し方」「聞き方」について、親の意識があまり高くないと感じている保護者が多い。

・「親が、子どもにやや高いめあてを設定させ、それに挑戦させることをしている。」の項目は「できている」「だいたいできている」を合わせても68%であり、課題である。



今まで、あまり意識していなかったことではありませんか。家庭学習、習い事、スポ少など、小さな目標を立て、できたら次の目標にレベルアップしていくなどの取組を意識してみてもどうでしょうか？

○教職員による評価

<評価が高い項目>

・あいさつに関して教職員の評価は高い。

・「児童のことで気になることは、教職員間で相談している。」という意識も他の項目に比べ、達成率が高く、共通理解をしながら対応している結果と考えられる。

<課題>

・「話し方」「聞き方」については、指導しているがまだ児童の変容まで指導が行き届いていないようである。

・「聞き方を意識し始めているという手ごたえを感じる。」という項目だけ、「できている」「だいたいできている」を合わせても75%で、達成率が低い。



引き続き「話し方」「聞き方」について、意識して取組みます。よいモデルを示しながら、子どもたちに身につくように指導していきます。